

A-001

INT. 編集室——
原稿用紙が積ま
ペンが走る。上
見開きページが
絵コンテ。同じ
変換されてきた



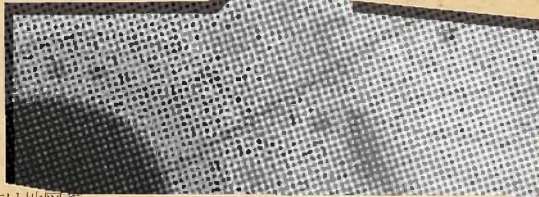
seko hiroschi

A-002

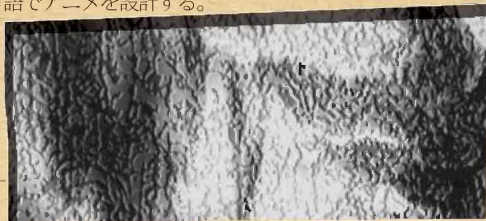
INT. 同・少し後
若い人物が原稿を手に、立ちすくんでいる。

た走る。壁には漫画の
文字から絵へと

若い人物
原作があるのに、なぜ書き起こすのですか。
長い間、が静止する。

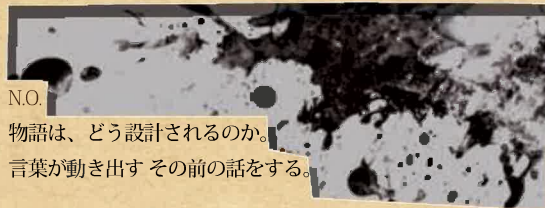


原作は地図だ。
どこへ行くかを決めるのが、脚本だ。
脚本家は、言語でアニメを設計する。



A-005

INT. 講堂——
夕（現在）
空の椅子が並ぶ。
窓から光が差し込む。



N.O.

物語は、どう設計されるのか。
言葉が動き出す その前の話をする。



fujitsu ryota

撮影：中里楓

古い街並み——昼（
ひとりの男が書物

説とは美術である、
言った人がいた。こ
本の表紙——「小説社



物語はどう設計されるのか

アニメ脚本の思考

2026.11.07 sat.
13:30—15:00（開場 12:30）

愛知淑徳大学 星が丘キャンパス 2 号館 講堂
名古屋駅より地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車 3 番出口より徒歩約 3 分

脚本家・シリーズ構成

瀬古浩司 seko hiroschi

名古屋市出身。アニメ制作会社を経てフリーに。主な参加作品に
『進撃の巨人 The Final Season』『呪術廻戦』『チェンソーマン』
『ダンダダン』『BANANAFISH』『ドロヘドロ』『ガチアクタ』
（すべてシリーズ構成・全話脚本）などがある。

アニメ評論家

藤津亮太 fujitsu ryota

1968 年、静岡県生まれ。新聞記者、週刊誌編集を経て 2000 年より
フリーとなりアニメに関する原稿の執筆を始める。主な著書に『ぼくら
がアニメを見る理由』（フィルムアート社）、『アニメと戦争』（日本評論社）、
『増補改訂版「アニメ評論家」宣言』（ちくま文庫）、『富野由悠季論』
（筑摩書房）などがある。X：@fujitsuryota

参加無料・要事前登録

名古屋市在学・在勤・在住の方
先行参加登録期間を設けます

8月10日 mon. ~ 9月10日 thu.

※館内でのスムーズな移動と安全確保のため、定員制にて実施いたします。※定員 400 名様。右の 2 次元コード
から「参加申込フォーム」でご登録ください。 ※キャンセルの場合は開催前日までにご連絡をお願いします。

主催 | 名古屋市（観光文化交流局文化芸術推進課） 協力 | 愛知淑徳大学 創造表現学部、文化のみち二葉館

お問合せ | 名古屋市（観光文化交流局文化芸術推進課） e-mail | a3172@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp（関係各所との調整・確認作業のため回答に 1 週間程度お時間を頂戴します）



なごや文芸週間とは



秋の読書週間(10月28日から11月9日)と同時季に「なごや文芸週間」と称し、読書の奨励と、過去から現在の名古屋市ゆかりの文芸作品や作家・歌人の周知・発信を目的とした様々な取り組みをいたします。それらを通じて、多くの方々に多彩な文芸作品を認知いただき、未来に向けた文芸や新たな都市魅力について考えていただく機会となるよう、「知る」「めぐる」「感じる」のジャンルで実施いたします。



公式WEBサイト

知る

Webなごやゆかりの 脚本/児童文学/ミニコミ

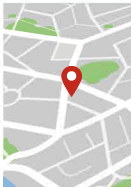
なごやゆかりの脚本/児童文学/ミニコミの紹介と、その人にまつわる名古屋市が収蔵している資料の一部を名古屋市公式WEBサイト上にて公開します。データは印刷してコレクションしていただけます。



めぐる

なごやの脚本/児童文学/ ミニコミゆかりの地巡り

なごやゆかりの脚本/児童文学/ミニコミに関連する施設・施設跡、記念碑などを巡っていただける地図(Googleマップを使用)を公開していきます。



感じる

体験・なごや文芸

文芸普及にまつわる地域・場所を会場に、文芸週間にふさわしい「体験」ができる催事を行います。今年は坪内逍遙から現代まで続く「脚本」の系譜。現代において第一線で活躍するなごやゆかりの脚本家を招いて、言語設計の現場に迫ります。



なごや文芸週間中には連携事業をはじめ市施設が主催または共催の文芸事業がたくさんあります。チケット購入や会場アクセス、時間、内容などの詳細は下記までお問い合わせください。

9/23 15:00~	朗読・演劇ワークショップ発表公演 【私の声はモノガタリのために2026】 「人でなしの恋」 会場:千種文化小劇場[ちくさ座]
10/1~	【なごや文芸週間事業】「Webなごやゆかりの脚本/児童文学/ミニコミ」「なごやの脚本/児童文学/ミニコミゆかりの地巡り」を名古屋市公式Webサイトにて公開開始
10/1~31	なごやっ子読書月間 ※内容は各館にておたずねください 会場:名古屋市図書館
10/7~11/29	文学企画展「愛知の美味しい文学展 おかわり!」 会場:文化のみち二葉館2階展示室
10/17.18	「円頓寺 本のさんぽみち」開催
10/17~11/15	「やっとかめ文化祭DOORS」開催
10/中旬~	「コトノハなごや」入選20作品公式Webサイトで発表
10/18 14:00~	名古屋能楽堂十月定例公演 狂言「今参」/能「井筒」(解説付) 会場:名古屋能楽堂
10/24.25	「円頓寺 本のさんぽみち」開催
11/7 13:30~	なごや文芸週間事業 「物語はどう設計されるのかーアニメ脚本の思考」 会場:愛知淑徳大学 星が丘キャンパス2号館 講堂
11/8 13:30~	文学企画展トークイベント 「書く」なごやめし 会場:文化のみち二葉館1階大広間
12/19 13:30~	「コトノハなごやサロン」~入賞発表と授与、講評会~ 会場:名古屋能楽堂 会議室

お問い合わせ:千種文化小劇場[ちくさ座] TEL:052-745-6235
名古屋能楽堂 TEL:052-231-0088
文化のみち二葉館 TEL:052-936-3836

(50音順)

円頓寺 本のさんぽみち

2026.10.17(土)・18(日)
10.24(土)・25(日)

[時間]11:00~16:00

[開催場所]円頓寺商店街(名古屋市西区那古野)



[お問い合わせ・主催]

本のさんぽみち実行委員会

<https://hon3pomichi.localinfo.jp/>

やっとかめ文化祭DOORS

2026.10.17(土)~11.15(日)



やっとかめ
文化祭

芸どころ・旅どころ・なごや

[お問い合わせ・主催]

やっとかめ文化祭実行委員会

<https://yattokame.jp/>

コトノハなごや2026

2026.12.19(土)

コトノハなごやサロン
(入賞作品発表と授与、講評会)



[お問い合わせ・主催]

名古屋市文化振興事業団

<https://kotonoha.nagoya-bungei.com/>